

平成24年度の助成先一覧

調査研究開発

(財)高知県牧野記念財団 ＜高知県＞	ミャンマー連邦における植物多様性保全
(特活)社叢学会 ＜京都府＞	東日本大震災における被災地社叢調査
(特活)四国自然史科学研究センター ＜高知県＞	四国におけるニホンザルの分布状況の把握
(特活)河北潟湖沼研究所 ＜石川県＞	河北潟の生物調査と河北潟レッドデータブックの作成
屋久島まるごと保全協会 ＜鹿児島県＞	屋久島における人と自然の関係史と保全状況の市民調査
JAPANESE HORTICULTURE 刊行準備委員会＜神奈川県＞	JAPANESE HORTICULTUREの刊行
外来種生態管理研究会 ＜北海道＞	外来種ヌートリアの密度制御と植生回復の実践的研究

活動・行催事

(特活)NPOクワガタ探検隊 ＜大阪府＞	大阪・北の森;オオクワガタ里親活動
(特活)山の自然学クラブ ＜東京都＞	北上南部の自然を活用するための連続シンポジウム実施
(特活)awarart＜福井県＞	波松海岸の植生保護(保全)増殖・景観保護
里山の山野草を守る会 ＜奈良県＞	里山に自生する山野草の保全と管理
(特活)緑のカーテン応援団 ＜東京都＞	「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクト
樹の子クラブ＜兵庫県＞	少年少女自然科学教室 —花と昆虫教室—
沖縄椿協会＜沖縄県＞	第23回全国椿サミット沖縄大会開催運営活動事業
札幌市立駒岡小学校 緑の少年団＜北海道＞	こまおかの森 げんきづくり事業

応募について

当協会のホームページに掲載される応募要項を確認のうえ、「助成金交付要望書」をダウンロードして必要事項を記入し、必要書類を添付して下記まで提出してください。
「助成金交付要望書」の記入にあたっては、「記入要領」をよくご覧ください。

インターネットをご利用になれない場合は、応募書類を郵送することも可能です。下記までお申し込みください。

提出された書類は返却いたしません。また、提出内容について事務局より問合せをすることがありますので、必ず控えを作成しておいてください。

受付期間

平成24年10月1日(月)～11月12日(月)

問合せ先

財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
企画部企画課

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2番136号

TEL **06-6915-4516**
(平日10時～17時)

FAX **06-6915-4524**

E-mail **hanahaku@expo90.jp**

QRコード対応携帯電話でコードを読み取れば、簡単にメールが作成できます。



ご応募いただいた個人情報につきましては、厳重に管理の上、当事業の運営以外の目的に使用することはありません。



財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

花と緑の志を応援します

平成25年度 助成事業



財団法人国際花と緑の博覧会記念協会では、1990年(平成2年)に大阪・鶴見緑地で開催された国際花と緑の博覧会の理念「自然と人間との共生」の継承発展・普及啓発を目的として、調査研究開発や活動・行催事などの諸事業を支援する助成事業を行っています。

<http://www.expo90.jp/>

平成25年度花博記念協会助成事業 公募のご案内

助成の対象

国際花と緑の博覧会(花の万博)の理念である「自然と人間との共生」の継承発展・普及啓発に資する事業であって、生命の象徴としての「花と緑」に関連する広汎な分野において、科学技術や文化などの発展・交流に寄与するものを対象としています。

応募対象者

- ①公益法人(財団法人、社団法人など)
- ②特定非営利活動法人(NPO)
- ③人格なき団体のうち非収益団体で代表者の定めがあるもの(研究グループや実行委員会、活動クラブなど。学生が関わるものも可)

助成の対象期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日までの任意の期間

助成の金額

助成対象の全体事業費のうち助成対象経費(事業実施に直接必要な費用)の総額の2分の1以内とし、事業区分に応じて次のとおりです。

- ①調査研究開発: 1件あたり100万円以内
- ②活動・行催事: 1件あたり50万円以内

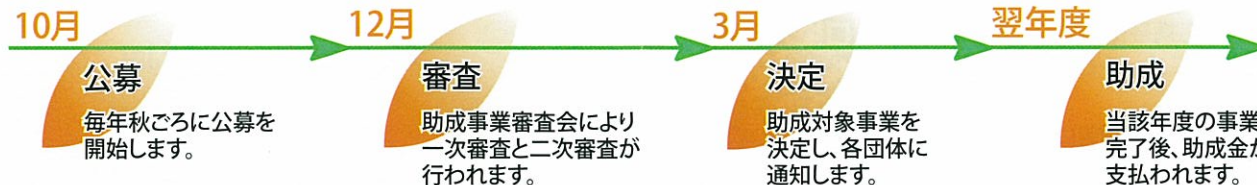
調査研究開発

- ・植物や鳥、昆虫などの生き物の分布、生態、分類などに関する調査研究
- ・生活文化の中に取り入れられた植物に関する調査研究
- ・国内外の日本庭園や花卉園芸などに関する調査研究
- ・上記のような調査研究等の成果に関する講演会、シンポジウム
- ・先進的、効果的な都市緑化に関する技術開発、緑化樹木や花卉の品質向上、生産、流通に関する技術開発 など

活動・行催事

- ・植物や鳥、昆虫などの生き物の保全、育成に関する活動
- ・市民による花と緑の地域づくりに関して、全国的にも好例となるような活動
- ・花と緑の効果的な普及啓発につながるイベント
- ・地域に特有な自然環境の保全・育成に関するセミナー、シンポジウム など

当協会のホームページ(<http://www.expo90.jp>)に過去の助成先を掲載しています。



助成対象経費

謝金	外部講師、専門家などへの謝礼
旅費	事業実施者、外部講師など関係者の旅費や宿泊費
備品費	事業の実施に直接必要な機材などの購入
消耗品費	事業の実施に直接必要な事務用品、消耗品、写真の現像代など
賃金	申請団体の会員以外で、事業の実施にあたって作業する者などへの支払い
使用料	会場などの借上料、機材・車両のレンタル代など
印刷製本費	報告書、ポスターなどの作成費
通信運搬費	郵送料、宅配便利用料金、切手代など

助成対象外経費

事務局管理費	申請団体の会員の人件費、事務所の賃借代など
その他	飲食費、備品の修理費、建物・施設の修繕費など

審査会委員 (敬称略、50音順)

- 尼崎 博正 (京都造形芸術大学 教授)
- 今西 英雄 (JFTD学園日本フラワー・カレッジ 校長)
- 近藤 公夫 (奈良女子大学 名誉教授)
- 佐倉 統 (東京大学大学院情報学環 教授)
- 須磨 佳津江 (キャスター・ジャーナリスト)
- 長村 智司 (大阪テクノ・ホルティ園芸専門学校 校長)
- 服部 明世 (前(財)都市緑化技術開発機構 理事長)
- 鷲谷 いづみ (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)